

ELSJ Newsletter No. 128 (2016年9月15日)

編集・発行所 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 研究社英語センタービル
 (Email: ejimu@elsj.org 電話/FAX: 03-5261-1922 ホームページ: <http://www.elsj.org>)
 一般財団法人 日本英文学会 代表者 佐々木 徹

会長からの報告

日本英文学会は10年ほど前から独文学会、仏文学会との連携を密にしていまいりました。全国大会のシンポジウムで両学会の代表をお招きしたこともありますし、学会として申請する科研費についての情報交換等も行っています。その流れの中で、昨年6月8日の文部科学大臣発言について、3学会で共同声明のようなものを出してはどうかという提案がなされました。私は学会は政治と切り離して考えたいのですが、これまでの経緯もありますので、理事・評議員のみなさんにおことわりしたうえで会長個人としてその提案に同意することにしました。そして、途中から加わったアメリカ文学会も含め、4学会の会長名で本年3月16日文部科学大臣あてに「合同要望書」を送付いたしました。これはあくまでも会長個人の責任になる文書ですので、本学会のHPには掲載しておりません(独文学会、仏文学会のHPには掲載されています)。なお、現時点で大臣からは何の反応もありません。

理事会および評議員会議事録から

京都大学での全国大会の前日(5月27日)に理事会および評議員会が開催されました。主要な議案は以下の通りです。

1. 2015年度事業報告
 2. 2015年度編集委員会活動報告
 3. 2015年度大会準備委員会活動報告
 4. 2015年度決算報告
 5. 2016年度予算確認
 6. 2017年度大会開催校の決定
 7. 2018年度大会開催支部の確認
 8. その他
- *なお上記、事業計画、予算、事業報告、決算報告は詳細を学会ホームページ「情報公開」欄でご覧いただけるようになっています。

「8. その他」中の主な議案は以下の通りです。

- (1) 2016年度就任の新理事について——4月20日付で箭川修理事より辞任届が提出されたため、定款に基づき、同理事の辞任を承認するとともに、後任理事として大河内昌氏(東北大学)を選定いたしました。大河内理事の任期は、退任した箭川前理事の任期満了時(2017年度全国大会の前日)までとなります。
- (2) 託児施設の利用状況——第88回大会においては、開催校のご尽力により託児施設が開設され、4名が利用予定であることが報告されました。
- (3) 大会準備委員の増員について——大会準備委員会より2017年度から委員を1名増員(英語教育学分野)することが提案され、承認されました。
- (4) 海外研究者招聘後援事業について——本年度上半期は期限(4月1日)までに申請がなかったことが報告されました。なお「海外招聘後援事業規程」は学会ホームページ「情報公開」欄に掲載いたしております。

大会準備委員会からのお知らせ

◎委員の交代

本年6月25日をもって田中孝信、井石哲也、大串尚代、佐野隆弥、鈴木享の各氏が任期満了により退任しました。後任には、市川千恵子(茨城大学)、栗山智成(京都大学)、久野陽一(青山学院大学)、下條恵子(九州大学)、三好暢博(旭川医科大学)、寺西雅之(兵庫県立大学)の6氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は川島伸博氏、副委員長は江田孝臣氏です。

◎第88回大会の『大会 Proceedings』発行

第78回大会から刊行がはじまった『大会 Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表39件中28件(71%)、シンポジウム発表48件中25件(52%)、特別講演1件、総発

表数 89 件中 54 件 (60%) の論文をお寄せいただきました。また今回は、全 7 支部より 81 の原稿をいただきました (北海道 9 件、東北 13 件、関東 3 件、中部 13 件、関西 17 件、中国四国 12 件、九州 14 件)。ご寄稿ありがとうございました。なお、『大会 Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められています。

◎第 88 回大会で発表された方へ

ご発表ありがとうございました。研究発表およびシンポジウムのいずれについても、参加者の方々から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、大会直後から、今からでもほしいという声が多く寄せられました。著作権等の問題がない場合には、今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。すでに送っていただいた方のは、掲載されております。これからでも掲載して下さる発表者の方はぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル (etaikai@elsj.org) でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第 89 回大会の開催日・開催校等

時 2017 年 5 月 20 日 (土)、21 日 (日)

所 静岡大学 静岡キャンパス
(静岡県静岡市駿河区)

開催校委員 内田恵、大村光弘 (委員長)、小町将之、鈴木実佳、高瀬祐子、田村敏広、丸山修、ステイーブ・レッドフォードの各氏

ここに名前をあげた 8 人の先生をはじめ、静岡大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また全国大会担当支部である中部支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎第 89 回大会のシンポジウム企画の内定

第 89 回大会で行われるシンポジウムの企画が下記のように内定しました。(敬称略。タイトルの変更の可能性あり。) 第 1~6 部門は大会第 1 日 (5 月 20 日)、第 7~12 部門は第 2 日 (同 21 日) にそれ

ぞれ開催される予定です。

第 1 部門「詩の善し悪し——西洋古典から英米まで」(仮題)

司会・講師 桂山 康司 (京都大学教授)
講師 長畑 明利 (名古屋大学教授)
講師 未定

第 2 部門「身体・人種・人間——英語圏文学研究の人類学的転回」

司会 武田 将明 (東京大学准教授)
講師 小川 公代 (上智大学准教授)
講師 梶原 克教 (愛知県立大学准教授)
講師 春日 直樹 (一橋大学教授)

第 3 部門「comedy of manners の系譜——王政復古期から Wilde まで」

司会・講師 玉井 暲 (武庫川女子大学教授)
講師 末廣 幹 (専修大学教授)
講師 岩田 美喜 (東北大学准教授)
講師 向井 秀忠 (フェリス学院大学教授)

第 4 部門「世界文学へ向かう流れ——翻訳の理論と実践から」

司会・講師 早川 敦子 (津田塾大学教授)
講師 小田島恒志 (早稲田大学教授)
講師 金原 瑞人 (法政大学教授)
講師 中村 和恵 (明治大学教授)

第 5 部門「The Use of Medieval Texts: Book Production, Circulation and Reading Practices in England and Europe c. 1400-1560」

司会・講師 徳永 聡子 (慶應義塾大学准教授)
講師 向井 剛 (福岡女子大学教授)
講師 Ann Hutchison
(Pontifical Institute of
Mediaeval Studies, Professor)
講師 James P. Carley
(The Clerk of the Worshipful
Company of Barbers and
Surgeons, Professor)

第 6 部門「On Phase Theory with Labeling Algorithm」

司会・講師 後藤 亘 (東洋大学助教)
講師 土橋 善仁 (新潟大学准教授)

講師 平岩 健 (明治学院大学准教授)

第7部門「アメリカ文学と自伝研究」(仮題)

司会・講師 フェアバンクス香織
(文京学院大学准教授)

講師 麻生 享志 (早稲田大学教授)

講師 朴 珣英 (金城学院大学准教授)

講師 中井亜佐子 (一橋大学教授)

第8部門「ポスト・コロニアリズム以後の演劇」

司会・講師 松田智穂子 (専修大学准教授)

講師 貴志 雅之 (大阪大学教授)

講師 佐和田敬司 (早稲田大学教授)

講師 岸本 佳子
(劇団空-Utsubo-主宰・東京
女子大学非常勤講師)

第9部門「辺境とジェンダー」

司会 武田 貴子 (名古屋短期大学教授)

講師 舞 さつき (大阪大学大学院)

講師 松本 ユキ (近畿大学特任講師)

講師 山口ヨシ子 (神奈川大学教授)

講師 宇沢 美子 (慶應義塾大学教授)

第10部門「機能範疇の階層構造を共時的・通時的
に探る」

司会・講師 田中 智之 (名古屋大学教授)

講師 遠藤 喜雄 (神田外語大学教授)

講師 保坂 道雄 (日本大学教授)

講師 前田 雅子 (九州工業大学講師)

第11部門「第一言語および第二言語における文処
理研究の動向」(仮題)

司会 平川真規子 (中央大学教授)

講師 須田 孝司 (静岡県立大学准教授)

講師 Douglas Roland (東京大学特任講師)

講師 John Matthews (中央大学教授)

第12部門「文学の教材化を今、考える——授業実
践を踏まえたメッセージ」(仮題)

司会・講師 中村 哲子 (駒澤大学教授)

講師 安田 優 (北陸大学教授)

講師 西原 貴之 (県立広島大学准教授)

講師 坂本 南美 (兵庫県立大学附属中学校教諭)

◎第89回大会特別講演の決定

例年大会2日目の午後には、特別講演か特別シンポジウムが行われることになっていますが、来年度は、「Shakespearean Noh and R. H. Blyth」(仮題)と題して、静岡大学名誉教授(英文学)／国際融合文化学会会長の宗片邦義氏による特別講演を行うことになりました。宗片氏は、シェイクスピア劇を英語のままに翻案、自らシテを演じて、世界的に活躍されています。また、氏は *Zen in English Literature* (『禅と英文学』)の著者で俳句を世界的に広め、天皇陛下の家庭教師もつとめられたブライズ先生の高弟でもあります。今回は、ブライズ先生から宗片先生へと受け継がれた教師としてのあり方についても、お話いただける予定です。どうぞ奮ってご参加ください。

◎第89回大会招待発表

第89回大会の招待発表講師は次の各氏に決定しました。(敬称略。50音順)

石井 透 (明治大学教授)

今西 雅章 (帝塚山学院大学名誉教授)

奥田 宏子 (神奈川大学名誉教授)

笠原 順路 (明星大学教授)

高柳 俊一 (上智大学名誉教授)

玉井 史絵 (同志社大学教授)

廣野由美子 (京都大学教授)

渡部 桃子 (首都大学東京名誉教授)

◎第89回大会研究発表の募集

第89回全国大会の研究発表を募集しております。学会のホームページ上でご確認のうえ、奮ってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締め切りは11月1日(必着)です。

◎シンポジウムのアイディア募集について

シンポジウムのテーマに関する提言は随時受け付けておりますので、事務局 (etaikai@elsj.org) までお寄せください。ただし、提案者は参加することはできませんのでご注意ください。寄せられたアイディアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジウムを企画立案する際の参考資料として活用します。

◎大会ワークショップについて

第86回大会よりワークショップが導入されておりますが、第89回大会には応募がありませんでした。応募要領は学会ホームページ (<http://www.elsj.org>) に掲載しておりますので、奮ってご応募ください。第90回大会(2018年開催)ワークショップの応募締め切りは、2017年4月末日です。

◎大会準備委員の年齢制限について

大会準備委員会内規では、大会準備委員の年齢を「就任時満60歳未満」と規定しておりましたが、この度、大会準備委員の選出をより柔軟に行えるよう、これを「就任時満63歳未満」に改めることが決定されました。

編集委員会からのお知らせ

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締め切りが設定されておりますが、昨年9月1日締め切りの英文号には25本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締め切りの和文号には18本の投稿論文が寄せられました。

◎第39回新人賞応募状況

第39回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締め切りとなりました。応募論文総数は、2篇(英文学2篇、米文学0篇、英語学0篇)です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度、第1次銓衡を通過したのは1篇(英文学)で、第2次銓衡において慎重な議論を重ねた結果、中村仁紀氏(大阪医科大学)の“*Godwinian Duty and the Positive Notion of Liberty in Coleridge's Political Thought in Lectures 1795, The Watchman, and Church and State*”が新人賞受賞となりました。受賞論文には賞金10万円が授与されます。

全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第93巻に掲載されます。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第93巻においては、残

念ながら「該当論文なし」となりました。

◎編集委員会の年齢制限について

『英文学研究』編集委員会選挙内規では、編集委員の年齢制限を「就任時に満60歳未満」と規定しておりましたが、この度、編集委員の幅を拡大することによる効果を考慮し、「就任時に満63歳未満」に改めることが承認されました。

事務局からのお祝い・ご報告

◎今年度の大会について

5月28日(土)・29日(日)に京都大学吉田キャンパスにて開催された第88回全国大会は、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。シンポジア、研究発表のいずれにおきましても活発な議論が展開され、中務哲郎先生による特別講演も啓発的な内容であり、大会は盛会のうちに終了いたしました。シンポジア・研究発表・特別講演関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸しくださった関西支部の皆様に篤く御礼申し上げます。

◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしておりますように、来年の第89回大会は2017年5月20日(土)・21日(日)の両日に静岡大学静岡キャンパスにおいて開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった静岡大学の皆様に心より御礼申し上げます。

例年通り、大会初日(5月20日[土])の夕刻には、会員の皆様にご参加いただく懇親会を予定しております。懇親会の予約方法につきましては、2017年3月刊行予定の『第89回大会資料』ならびに学会ホームページにて、あらためてお知らせいたします。

◎来年度大会における特別講演について

大会2日目(5月21日[日])の午後には、静岡大学名誉教授の宗片邦義先生による特別講演が予定されております。多数のご来聴をお待ちしております。詳細については『第89回大会資料』に掲載いたします。

◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校のご尽力により、来年度全国大会期間中に、託児業者に委託する形で、大会会場内に託児所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局にお問い合わせください。

◎会費納入と刊行物発送について

会費（一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円、協賛会員 10,000 円）を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2 年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会 Proceedings』に 2 年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が 2 年目になっています。今年度中に 2 年度分の会費の納入がなかった場合は、2017 年 3 月末をもって会員資格を失うこととなります。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール (ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局（ゆうちょ銀行）に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール (ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

なお、66 歳以上の会員を対象とした終身会員制度を設けております。詳細につきましては、学会ホームページ掲載の「終身会員規程」をご覧ください。ほか、事務局までメール (ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどでお尋ねください。

◎会員著書案内について

2012 年 4 月より、会員の皆様から事務局宛てにご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を掲載できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。掲載期間は、出版から 2 年間

です。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。

掲載をご希望の方は、以下の情報を事務局までメール (ejimu@elsj.org) でお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概 1,200 字程度
3. 目次

この会員著書案内欄には、2016 年 7 月の時点で 21 冊が紹介されております。ぜひご覧ください。

◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011 年 6 月 1 日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しています。詳細は学会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞ奮ってご応募くださいますようお願いいたします。応募する団体は申請書類を事務局宛てメール (ejimu@elsj.org) にてお送りください。

◎今回の Newsletter について

今回の Newsletter は、2017 年 3 月中旬刊行予定の『第 89 回大会資料』の巻末に掲載される予定です。それまでの間にお知らせすべき情報は、随時、学会ホームページに掲載いたしますので、定期的な確認をお願いいたします。

◎その他

本年 5 月末をもって、前任の金澤哲事務局長、合田典世編集担当書記、小島基洋大会準備担当書記が退任されました。それぞれの研究教育業務で多忙を極める中、一般財団法人化以後の英文学会の運営を安定させるべくご尽力いただき、数多の困難と膨大な業務に、まことに優れた判断力と粘り強さをもって対処してくださいました。あらためて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4 月より新たに、山口和彦（事務局長補佐）、若林麻希子（編集担当書記）、横越梓（大会準備担当書記）の 3 名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に配置換えになった諏訪部浩一、昨年度より引き続き会計担当補佐を務める生駒夏美、同様に引き続きウェブマスターを務める渡部智也とともに、6 名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は

来年度の全国大会が終わる5月末までとなります。2名の有能な事務職員に支えられ、佐々木徹会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと懸念しておりますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

日本英文学会事務局

諏訪部浩一・山口和彦・生駒夏美・若林麻希子・
横越梓・渡部智也